

平成25年10月から平成26年3月まで

議員報酬8%削減可決！

職員4～8%、市長・副市長・教育長10%同期間実施

25年9月定例会開会

9月定例会は、9日開会し24日最終本会議が開かれ、白河市一般会計補正予算84億3729万4千円をはじめ、特別会計補正予算を含めた合計87億8195万9千円を可決するなど、提出された25件のうち平成24年度の決算認定を除く全ての議案が原案どおり可決、同意、または承認され閉会となりました。

議会提出議案 議員報酬8%削減案可決

国の厳しい財政状況及び東日本大震災に対処する必要性に鑑み、平成24年4月から2年間に限り、国家公務員の給与が削減措置されており、付則において、この法律の趣旨を踏まえ地方公共団体において自主的かつ適切に対応されるものと言及されているところです。

一方地方公務員給与につきましては、国家公務員の給与に準拠しながらも、住民の声を聞き、地方議会が自主的に判断すべきものであり、最近の地方分権への流れの中においても、今まで以上に地方自

治体の自己決定、自己責任が求められており、国から強制されるべきものではないと認識をいたしております。

しかしながら、本市においては、未だ震災からの復興途上であり、本格的な復興、そしてさらなる発展へと、市民一丸となって力強く前へと進んでいかなくてはならない状況であります。



このような中、「白河市長等の給与の臨時特例に関する条例」及び「白河市職員の給与の臨時特例に関する条例」が提案され、市長はじめ職員

が身を切つて削減努力をしようとしており、また、平成26年度予算における国からの地方交付税減額の懸念もあることから、我々議会としても平成25年10月1日から平成26年3月31日までの間、市議会議員の議員報酬月額を8%減額するための条例を議案案として提出しました。

8%削減決定までには何度となく各派代表者会議を開催し、種々意見が出されましたが、全会一致により、可決しました。

議案第103号 カタールフレンド基金事業 市総合運動公園陸上競技場改修工事請負契約について

教育委員会はカタールフレンド基金の公募に健康分野で応募し、採択を受けました。そして、本会議においてその請負契約が承認されました。請負契約の相手方は、宮城県の日本体育施設(株)東北支店であり、請負金額は1億7682万円であります。請負契約の内容について説明します。

工事内容は、トラックウレタン切削・オーバーレイ(約5530㎡)、ウレタン舗装(約1404㎡)、砲丸落下舗装(アンツーカー約166㎡)、砲丸サークル(1箇所)、水濠改修1式、レーンライン(約213m)、内圏縁石調整(約398m)、内圏縁石設置(約28m)、電源ケーブル設置工、ハンドホール設置工、排水溝改修、以上となっております。

本事業の総額は、約6億6400万円となり、その事業内容は、フットサルコートを含む健康スポーツセンター新設3億9900万円(25～26年度)、陸上競技場改修約2億1800万円(25年度)、国体記念体育館改修4300万円(25年度)、ソフト事業約400万円(25年度)となります。事業期間は、26年12月までとなっております。

可決された補正予算 の主な内容

民間宅地除線対策事業

40億2439万6千円

【放射線対策課】

白河市除染実施計画の優先順位に基づき、放射線量の低減を図るため、個人住宅の除線に必要な経費等について、所要の金額を計上。

対象地区 旗宿・小田川・白坂の一部（1205戸）

都市公園等除線対策事業

5億685万1千円

【都市計画課】

白河市除染実施計画の優先順位に基づき、放射線量の低減を図るため、都市公園等の除染に必要な経費等について、所要の金額を計上。

対象公園（28箇所）

強い農業基盤づくり事業

1億5020万円

【農政課】

地震や台風から災害を受けずに、安定的な農業用水の供給を可能とする強い農村環境を構築するため、農業用施設の整備・更新に必要な経費等について、所要の金額を計上。

対象施設

- ため池2箇所
- 頭首工「堰」1箇所
- 揚水機場等6箇所
- 水路等10箇所。

ふくしま森林再生事業

1億7352万7千円

【農政課】

森林における放射性物質の不安を取り除くことを目的に、間伐などの林業的手法による森林整備と放射性物質の調査を一体的に実施するため、所要の金額を計上。

遊具等整備事業

2億687万2千円

【観光課】

原発事故の影響により減少した子供の運動機会の確保を目的に、白河関の森公園の遊具更新等をするため、所要の金額を計上。

遊具等整備事業

2億6730万円

【都市計画課】

実施場所 白河市総合運動公園、白河市鶴子山公園。

道路維持管理事業

2億1538万5千円

【道路河川課・各庁舎事業課】

舗装・側溝等の未整備箇所のうち緊急性・必要性の高い箇所の整備及び早期対応が必要な箇所の補修を行うため、所要の金額を計上。

対象路線は、搦目山1号線川前1号線など。

小峰城史跡整備事業

1911万1千円

【文化財課】

東日本震災により被災した三重櫓及び前御門の修復をするため、所要の金額を計上。平成26年度に修復工事を予定。

聖ヶ岩ビジターセンター整備事業（隈戸地域活性化事業）

1億3980万円

【地域支援課】

地域の活性化のため、老朽化したふるさとの森管理棟をバリアフリー化など利用者のニーズに合った施設として整備するため、所要の金額を計上。施設概要は、面積336・6㎡。主な施設として、自然学習室、交流スペース、ボルダリングスペースとなっています。

文化財補助災害復旧事業

4億2857万3千円

【文化財課】

小峰城石垣の災害復旧事業計画を当初計画より拡大するため、所要の金額を計上。

※報告第11号 平成24年度白河市継続費精算の報告について

白河第二小学校建設事業Ⅱ期工事の継続費に係わる継続年度が終了したので、継続費の精算について議会に報告。

款	項	事業名	年度	全 体 計 画					実 績					比 較				
				年割額	左 の 財 源 内 訳				支出済額	左 の 財 源 内 訳				年割額と支出済額の差	左 の 財 源 内 訳			
					特定財源	一般財源				特定財源	一般財源				特定財源	一般財源		
						国	県	地方債			国	県	地方債			国	県	地方債
55	教育費	白河第二小学校建設事業Ⅱ期工事	平成23	237,430,000	51,866,000	176,200,000		9,364,000	233,510,000	51,866,000	172,500,000		9,144,000	3,920,000		3,700,000		220,000
			平成24	266,391,000	81,912,000	168,800,000		15,679,000	270,310,450	81,912,000	172,500,000		15,898,450	△3,919,450		△3,700,000		△219,450
			計	503,821,000	133,778,000	345,000,000		25,043,000	503,820,450	133,778,000	345,000,000		25,042,450	550				550

※報告第12号 平成24年度白河市の健全化判断比率及び資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する規定により、議会に報告するものです。

- ◎実質赤字比率は、実質赤字額がありません。
- ◎連結実質赤字比率は、連結実質赤字額がありません。
- ◎実質公債費比率は、24年度単年度において11.4%。過去3年間平均では、12.8%。（早期健全化基準は25.0%であり、平成23年度は13.2%でした。）
- ◎将来負担比率は、115.6%であり、早期健全化基準は350.0%となっております。